

栄養ケア・ステーションを拠点とした「栄養のあるまちづくり」に向けた 研修・ワークショップ 開催要領

趣 旨 人口減少や高齢化の進行、医療・介護費の増大、生活様式や価値観の変化などにより、地域を取り巻く健康・栄養課題は、年々複雑化・重層化している。こうした中、栄養・食生活分野においては、個別相談や単発の教室といった従来型の取組に加え、地域全体の環境や仕組みを見据えた、計画的・戦略的な取組が求められている。また、栄養ケア・ステーションは、管理栄養士・栄養士の専門性を生かし、行政、医療、介護、企業、地域住民など多様な主体と連携しながら、地域における栄養支援を総合的に担う拠点としての役割を期待されている。

このようなことから、栄養ケア・ステーションは今後、個々の活動を積み重ねるだけでなく、地域の状況を客観的に整理したうえで、将来を見据えた方向性や優先施策を明確にし、継続性のある取組として展開していくことが重要である。

本研修・ワークショップでは、地域を取り巻く外部環境を整理する視点を取り入れながら、栄養ケア・ステーションを拠点に「どのような地域課題に、どのような形で取り組むのか」を検討し、「栄養のあるまちづくり」に向けた戦略的なプラン（構想案）を作成することを目的とする。

目 的 本研修・ワークショップは、次の目的をもって実施し、その成果を今後計画されている宮城県多賀城市における「栄養のあるまちづくり」の実装につなげていく。

- (1) 地域を取り巻く社会的背景や健康課題を俯瞰的に捉える視点を身につける
- (2) PEST 分析を用いて、地域の状況や課題を整理できるようになる
- (3) 行政施策や地域の取組を、栄養ケア・ステーションの活動・事業として検討できるようになる
- (4) 栄養ケア・ステーションを核とした地域連携のあり方を具体的にイメージできるようになる
- (5) 実践可能な栄養ケア・ステーションの戦略的プランを描けるようになる

主 催 一般財団法人 日本栄養実践科学戦略機構。

協 力 公益社団法人 日本栄養士会（予定）
公益社団法人 宮城県栄養士会

対 象 宮城県栄養士会 会員
(行政、医療機関、福祉施設、フリーランス、栄養ケア・ステーション関係者 等)

開催日時 2026年2月21日（土）10：00～15：00

場 所 TKP ガーデンシティ PUREMIUM 仙台西口
(仙台市青葉区花京院1丁目2-15 ソラプラザ5階 ホール5C)

内 容 本研修会・ワークショップは、一方向的な講義にとどまらず、参加者同士が意見を交わしながら地域での実践を見据えた学びを深める形式とし、以下の内容で実施する。

○あいさつ

○オリエンテーション

○第1部 研修 10:10～12:00

講義1 戦略的な思考に基づく栄養施策の企画・立案等について

講師 栃木県保健福祉部健康増進課 池内寛子

講義2 国・自治体の施策と栄養ケア・ステーションの役割について

講師 公益社団法人日本栄養士会 理事 須永将広

講義3 最新情報：プレコンセプションケアと大人の食育について

講師 公益社団法人日本栄養士会 常務理事 阿部絹子

(昼食休憩 12:00～13:00)

○第2部 ワークショップ（グループ演習）13:00～15:00

・PEST分析を用いた地域課題の整理

・行政施策や地域の取組と連携した栄養ケア・ステーションの事業を検討

・実践可能な栄養ケア・ステーションの戦略的プランを作成

・グループごとの検討結果の共有・意見交換

講師 栃木県保健福祉部健康増進課 池内寛子

公益社団法人日本栄養士会 常務理事 阿部絹子

ファシリテーター

日本栄養士会 栄養ケア・ステーション事業部

参加定員 30名

受講料 無料（昼食付）

申込方法 公益社団法人 宮城県栄養士会あてメールで申込受付

申込締切 2026年2月13日（金）

問合せ先 〒105-0004 港区新橋 5-13-5 新橋 MCV ビル 7 階

一般財団法人日本栄養実践科学戦略機構

電話：03-3578-7700

Fax：03-3578-7070

E-mail：yoshida@nups.or.jp